

大津市議会
広報広聴ビジョン
アクションプラン

令和4年4月
大津市議会

目次

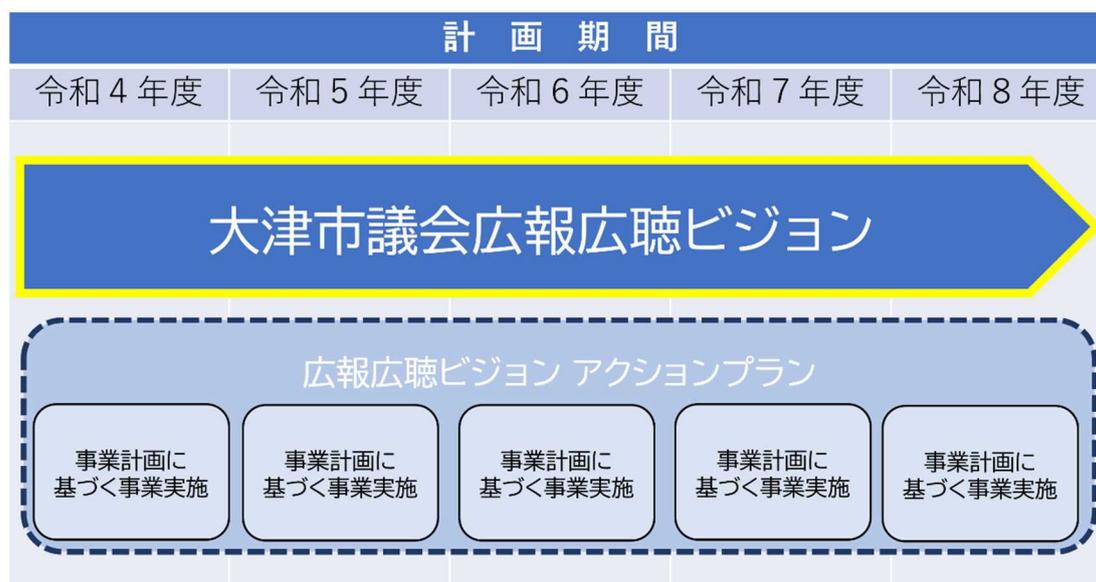
1	アクションプランの位置付け.....	2
2	計画期間.....	2
3	進行管理と成果確認.....	2
4	事業計画.....	3
5	計画体系図.....	5

1 アクションプランの位置付け

大津市議会広報広聴ビジョンアクションプラン（以下、「アクションプラン」という。）は、大津市議会広報広聴ビジョンで定めた広報広聴戦略に基づく取り組みを計画的に推進するために定めるものです。

2 計画期間

大津市議会広報広聴ビジョンの計画期間に合わせて、アクションプランの実行期間は令和4年度から令和8年度までの5年間とし、期間を通じて実施すべき事業を「事業計画」に整理した上で、推進していきます。



3 進行管理と成果確認

■進行管理

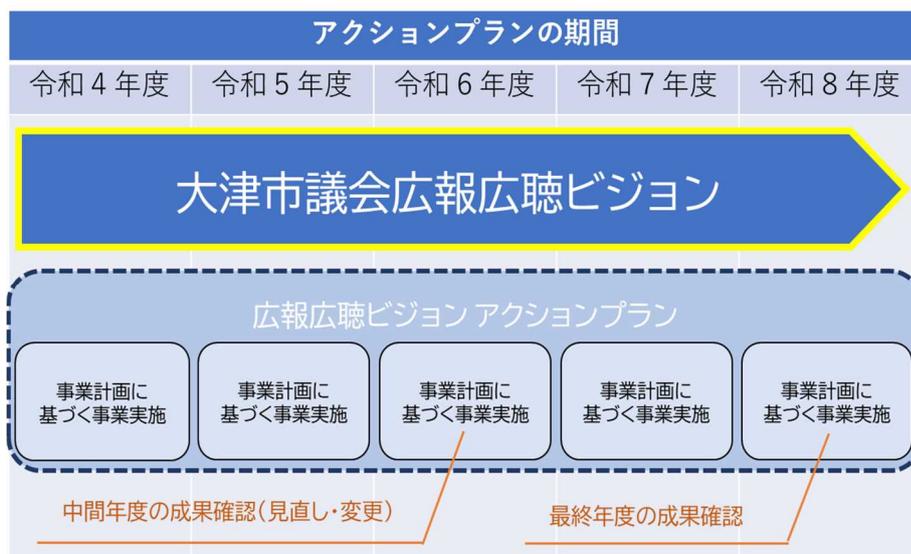
事業計画に基づく各事業の実施状況について、毎年度、内部評価を実施し、進行管理に取り組みます。評価基準については下記のとおりとし、計画した事業が実施できなかった場合は、翌年度の計画に加えることとします。また、社会経済情勢の変化などの外部環境が大きく変化した場合は、見直しの検討など柔軟に対応していきます。

【事業実施の評価基準】

評価	実施状況
A	計画を上回って事業を実施した
B	おおむね計画どおり事業を実施できた
C	計画を下回って事業を実施した
D	計画した内容をほとんど実施できなかった

■成果確認

中間年度である令和6年度に、その時点までの取り組みに対する成果を確認します。進捗状況や、課題の整理、検証結果に応じて、後半の事業内容の見直しや変更などを行い、広報広聴戦略に基づく取り組みを計画的に推進します。また、最終年度である令和8年度には計画期間全体を通じた成果を確認し、アクションプランで取り組むべきとした事業がどの程度達成できたかを振り返ります。



—アクションプランにおける活動指標—

評価時期	活動指標
中間成果確認(令和6年度)	事業全体の50%実施
最終成果確認(令和8年度)	事業全体の100%実施

※事業計画に掲げた総事業数のうち、実施済みで内部評価がA及びBの事業数の割合

(参考) 広報広聴ビジョンにおける成果指標

指標	現在 (令和3年度)	目標 (令和8年度)
市議会に何らかの関心がある市民の割合	43.6%	60%
市議会の広報に接したことがある市民の割合	72.5%	80%
議会への参画の機会が確保されていると思う市民の割合	—	10%

※現状の数値は、令和3年度に実施した市議会の広報に関する市民アンケート調査結果による

4 事業計画

大津市議会広報広聴ビジョンでは、広報広聴戦略に基づいた取り組みの方向性を定めています。

広報広聴戦略

- 戦略① 広報媒体の特性やターゲットに応じた効果的な情報発信
- 戦略② 双方向コミュニケーションによる広報広聴機能の充実

取り組みの方向性

- 方向性① 広報媒体の役割の明確化とリニューアルを含めた新たな活用の検討
- 方向性② 「大津市議会」の認知獲得、愛着心の醸成に資するコンテンツの創出
- 方向性③ デジタルコンテンツの充実とメディアミックスによる情報発信の強化
- 方向性④ 双方向コミュニケーションによる広報広聴活動の推進

アクションプランでは、この広報広聴戦略に基づいた取り組みの方向性を反映させながら、広報媒体及び広聴の形態ごとに事業を整理し、事業計画として以下のとおり整理します。

【事業計画】

広報広聴活動 分類	内容	年度計画				
		R4	R5	R6	R7	R8
おおつ市議会だより	紙面リニューアルの内容の検討及び実施					
	市民参加型企画の調査研究・内容検討・企画の導入					
	他コンテンツとのメディアミックスの充実					
	配置箇所の充実					
	配布方法の調査研究及び新たな配布方法の検討					
ポスター・パンフレット	効果的なポスター等の作成に向けた手法等の検討					
	市議会の非認知層をターゲットとしたパンフレットの作成					
	若年層をターゲットとしたパンフレットの作成					
	他コンテンツとのメディアミックスの充実					
	市議会への関心惹起に向けたポスターの作成					
	ポスター掲示箇所の充実					
市議会ホームページ	掲載情報の整理、掲載カテゴリーの再構築					
	トップページリニューアルの実施					
	他コンテンツとのメディアミックスの充実					
	アクセス解析等による現状把握					
動画制作	効果的な動画コンテンツの作成に向けた手法等の検討					
	市議会への関心惹起に向けた動画コンテンツ制作					
	他コンテンツとのメディアミックスの充実					
SNS	SNSによる情報発信の整理					
	SNSを活用した広報の充実					
	ターゲット広告の導入検討					
	他コンテンツとのメディアミックスの充実					
	アクセス解析等による現状把握					
テレビ広報番組	番組内容や構成の見直し					
シンボルマーク	ロゴマーク、キャラクター、キャッチフレーズ等の作成					
パブリシティ	パブリシティ活動の充実					
個別広聴	ホームページ意見箱の運用方法の見直し					
	SNSを活用した広聴事業の検討・導入					
	議場等における市民意見聴取の場の創出に向けた制度の構築・導入					
集団広聴	ICTを活用したオンライン意見交換会の充実					
	若者や各種団体などとの意見交換会の実施					
	議場見学会等の制度構築と制度周知					
	意見交換会への参加団体の拡充					
	市民参加型合意形成デジタルプラットフォーム調査研究・導入検討					
調査広聴	インターネット市民意識調査の実施検討					
	市議会や市議会広報に関する市民意識調査の実施					
	学生や各種団体からの推薦制による市議会モニター制度の構築・導入					

5 計画体系図

方向性①

広報媒体の役割の明確化とリニューアルを含めた新たな活用の検討



方向性②

「大津市議会」の認知獲得、愛着心の醸成に資するコンテンツの創出



方向性③

デジタルコンテンツの充実とメディアミックスによる情報発信の強化



方向性④
双方向コミュニケーションによる広報広聴活動の推進

